

## II 施策評価・進捗管理調書



## 京丹後市教育振興計画

## 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
子ども未来課	吉岡 正俊

<b>重点目標</b>	1 就学前の子どもの教育・保育環境を充実します	就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、幼稚園と保育所の連携を深め、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を目指し、保幼小の連携を強化します。 地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。
-------------	-------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 施策の方向性 **PLAN**

<b>1. 就学前教育の環境整備</b>	①「京丹後市保育所再編等推進計画」に基づき、旧6町域すべてにおいて、保護者の就労状況等の家庭環境に合わせ、就学前の教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進めます。 ②子育て家庭の子育ての不安に寄り添いサポートする体制の強化を図ります。 ③職員自身の自主的な資質向上を促すため、保育所・幼稚園の全職員を対象とした研修の充実を図るとともに、公開保育や職員の交流機会の充実を図ります。
<b>2. 保幼小の連携強化</b>	①保幼小の円滑な接続のためのカリキュラムを開発し、すべての保育所、幼稚園及び小学校で実施します。

## 【参考】施策に関連するその他の計画

計画名稱	計画概要	策定期月	計画期間	備考
<b>第2次京丹後市総合計画</b>	市の目標を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成21年度～平成36年度	
<b>京丹後市保育所再編等推進計画</b>	将来にわたり子どもたちにとってより良い保育を保障するため、地域の特性に配慮しながら、小規模保育所等の統廃合及び社会福祉法人への運営委託等を具体的に進めるために策定	平成23年3月	平成23年度～平成27年度	
<b>京丹後市子ども・子育て支援計画</b>	市における子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援する環境づくりを一層進めるため策定	平成27年3月	平成27年度～平成31年度	

2. 主な取組と構成事業一覧 **PLAN** **DO**※各事業の評価・課題について  
は、別紙決算附属資料参照**CHECK****ACT**

<b>1. 就学前教養の環境整備</b>	市が運営する「京丹後市保育所再編等推進計画」に基づき、旧6町域すべてにおいて、保護者の就労状況等の家庭環境に合わせ、就学前の教育・保育を総合的に提供できる環境整備を進めます。	平成27年3月	平成21年度～平成36年度	事業の改善
<b>2. 保育業務委託事業</b>	保護者の就労等により、保育を必要とする児童の健全な心身の発達を図る。	子ども未来課	H27決算額 H28決算額 H29予算額	評価を踏まえた 今後の方針性
<b>3. 保育所・保育事業等補助金</b>	私立保育所(公設民営保育所)が行う事業の円滑な運営ができるよう体制作り等に対して補助金を交付し、特別保育事業を推進する。	子ども未来課	283,110 539,692 609,936	拡大
<b>4. 子育て支援センター事業</b>	保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整える。	子ども未来課	19,132 25,129 35,136	拡大
<b>5. 子育て短期支援事業</b>	保護者が就労や疾病等の理由により、家庭で養育することが一時的に困難となった場合、該当児童を乳児院等で一定期間養育し、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。	子ども未来課	14,978 12,651 15,227	現状維持
<b>6. 病後児保育事業</b>	病気の回復期にあり、集団保育が困難な児童を一時的に保育することにより、保護者の子育てと就労の両立等を支援とともに、児童の福祉の向上を図る。	子ども未来課	649 665 1,052	現状維持

7.保育所一般経費	子ども未来課				
保育所入所児童の健康管理、臨時職員の雇用、職員等の研修、児童の送迎バス運行、給食調理業務等により保育所の円滑な運営を図る。	子ども未来課	553,856	465,198	538,697	改善・効率化
8.園児等健康管理事業	子ども未来課	314	344	427	現状維持
幼稚園における円滑な教育活動を実施するため、専門医による検診や保健衛生管理を行い、園児の健康保持と増進を図る。	子ども未来課				
9.幼稚園スクールサポート等設置事業	子ども未来課	20,140	32,616	37,041	現状維持
幼稚園に介護職員及び預かり保育職員を配置することで、適正かつ円滑な幼稚園運営を行う。	子ども未来課				
10.幼稚園管理運営事業	子ども未来課	13,044	12,524	16,013	現状維持
適正な幼稚園運営や教育環境の充実に取り組み、就学時前教育の充実を図る。	子ども未来課				
11.幼稚園施設管理事業	子ども未来課	5,049	1,385	34,283	現状維持
幼稚園施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。	子ども未来課				
2.保幼小の連携強化					
主な取り組み:					
1.事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
①保幼小の円滑な接続のためのカリキュラムを開発し、すべての保育所、幼稚園及び小学校で実施します。	学校教育課	H27決算額	H28決算額	H29予算額	事務の改善 評価を踏まえた 今後の方向性
12.小中一貫教育推進事業《再掲》	担当課				
「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。	学校教育課	-	-	-	現状維持
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業					
事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
13.アフターサポートセンター事業	子ども未来課	H27決算額	H28決算額	H29予算額	事務の改善 評価を踏まえた 今後の方向性
子どもの預かり等の援助を受ける方へ援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月～小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。	子ども未来課	66	76	67	現状維持
14.子ども未来まちづくり審議会事業	子ども未来課	116	194	184	現状維持
すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画、特定教育・保育施設の利用定員の設定等に関して審議する。	子ども未来課				
	計	1,074,858	1,221,245	1,443,579	

### 3 教育振興計画で掲げている主な目標指標

就学前の子どもの健やかな育ちを確保するため、保育ニーズに応じた保育環境の整備はもとより、保育士や教員の資質向上及び専門性を高めるために研修機会を設けるとともに、幼稚園と保育所の連携を深め、教育・保育を総合的に提供できる環境づくりに取り組みます。また、小学校への円滑な接続を目指し、保幼小の連携を強化します。地域や家庭で安心して子育てができるよう、地域の実情や保護者のニーズを的確に把握しサービス情報の周知徹底を図るとともに、子育てや就学前教育についての情報交換や気軽に相談する場の確保に努めます。

目標指標	単位	計画作成時	実績値(現状)		目標値	年度
			年度	年度		
幼稚園の数	園	4 H25	6 H28	6 H36		
病後児保育の実施事業所数	事業所	0 H25	1 H28	1 H36		
子育て支援センター数	か所	7 H25	8 H28	8 H36		
一時預かり実施事業所数	事業所	6 H25	10 H28	9 H36		
保育所・幼稚園職員の全体研修数	回	3 H25	3 H28	5 H36		

### 4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本の方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

**CHECK ACT**

進捗状況区分	評価	28年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる		『幼稚園の数』 第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定し、平成33年度までの5ヶ年を期間として、①保育所の再編、②民営化の検討、③認定こども園への移行などを定めた。現在の5つこども園は30年度に、網野幼稚園は31年度に、認定こども園に移行するため、30年度末をもって市立幼稚園は廃止となる。
▲ 少し遅れている		『病後児保育の実施事業所数』 平成27年度の開設から2年目を迎えて、徐々に利用が増加した。課題としては、特に子育て世代に、この制度の存在を伝える広報活動の推進がある。
×	大幅に遅れている	『子育て支援センター数』 市内8カ所で開設しており、保育士、保健師、など専門職が子育て相談に対応するとともに、子育て世代間の友達づくり、情報共有など居場所を提供することができた。課題は、利用者が増加しているため、活動に十分なスペースの確保が難しく、児童の年齢に応じたクラス編成により、利用の曜日を決めるという調整をせざるを得ない点がある。 『一時預かり実施事業所数』 平成28年度から、大宮北保育所とごりゅう保育所を公設民営に移行させたことに伴い、両施設とも一時預かりを開始して、サービスの向上を図ることができた。 『保育所・幼稚園職員の全体研修数』 予定どおり開催できた。今後は、幼稚園教育要領、保育指針等3指針の同時改訂、認定こども園への移行などに対応するため、より専門的な研修が必要となる。

### 5. 今後の施策展開の考え方(平成29～31年度までの3か年の主な取組) **ACTION**

区分	No.	具 体 的 内 容
施策展開の考え方	1	保育所の利用において、0～2歳の低年齢児の利用が増える傾向にあり、このニーズに応える保育所の運営を続けるとともに、平成27年3月に策定した京丹後市子ども・子育て支援事業計画と整合性を図りつつ、今後も子育て支援の施策の充実を図る 「京丹後市小中一貫教育保幼小接続モデルプラン」を参考に、各学園で保幼小の情報共有や教職員の交流と相互理解を深めるなど、小学校教育への円滑な接続を図るためにの取組みの充実を図る。
	2	

0

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	02保育所管理運営事業																																									
細事業名	01 保育所管理運営事業			決算書	P.164																																								
総合計画	計画項目 (旧計画項目)	25 子育て支援の総合的な推進 28 子育て支援の総合的な推進																																											
決算額①	最終予算額②	不用額③(②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																									
128,364千円	129,767千円	1,403千円	98.9%	143,154千円																																									
目的	施設の維持管理に努め、円滑な保育所運営を実施する。																																												
主要な事務・事業の概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>保育所数</th> <th>3歳未満児童数</th> <th>3歳以上児童数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>2</td> <td>82</td> <td>115</td> <td>197</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>1</td> <td>47</td> <td>70</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>4</td> <td>79</td> <td>153</td> <td>232</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>2</td> <td>51</td> <td>69</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>1</td> <td>33</td> <td>82</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>2</td> <td>57</td> <td>116</td> <td>173</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12</td> <td>349</td> <td>605</td> <td>954</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H29.3.1現在)</p> <p>&lt;支出内訳&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>保育所の運営に関する経費 ( 84,821 千円) <ul style="list-style-type: none"> <li>○保育材料費ほか消耗品費 12,282 千円 ○給食賄材料費 71,255 千円</li> <li>○施設設備品、保育備品 809 千円 ○コピー機等借上料 475 千円</li> </ul> </li> <li>施設の維持管理に関する経費 ( 43,543 千円) <ul style="list-style-type: none"> <li>○燃料費、光熱水費 31,803 千円 ○通信運搬費 988 千円</li> <li>○施設・備品等一般修繕 4,644 千円 ○清掃用具借上料 307 千円</li> <li>○手数料 524 千円 ○浄化槽維持管理 1,736 千円</li> <li>○施設警備委託料 673 千円 ○その他委託料 2,868 千円</li> </ul> </li> </ol>						保育所数	3歳未満児童数	3歳以上児童数	合計	峰山町	2	82	115	197	大宮町	1	47	70	117	網野町	4	79	153	232	丹後町	2	51	69	120	弥栄町	1	33	82	115	久美浜町	2	57	116	173	計	12	349	605	954
	保育所数	3歳未満児童数	3歳以上児童数	合計																																									
峰山町	2	82	115	197																																									
大宮町	1	47	70	117																																									
網野町	4	79	153	232																																									
丹後町	2	51	69	120																																									
弥栄町	1	33	82	115																																									
久美浜町	2	57	116	173																																									
計	12	349	605	954																																									
主な財源	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>負担金</td> <td>保育料現年分</td> <td>24,610千円</td> </tr> <tr> <td>府補</td> <td>多子世帯保育料減免市町村交付金</td> <td>3,079千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>保育所広域入所児童受託保育料</td> <td>3,735千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>保育所職員給食費、幼稚園給食費</td> <td>18,742千円</td> </tr> <tr> <td>諸収入</td> <td>延長保育間食負担金</td> <td>2千円</td> </tr> </tbody> </table>					負担金	保育料現年分	24,610千円	府補	多子世帯保育料減免市町村交付金	3,079千円	諸収入	保育所広域入所児童受託保育料	3,735千円	諸収入	保育所職員給食費、幼稚園給食費	18,742千円	諸収入	延長保育間食負担金	2千円																									
負担金	保育料現年分	24,610千円																																											
府補	多子世帯保育料減免市町村交付金	3,079千円																																											
諸収入	保育所広域入所児童受託保育料	3,735千円																																											
諸収入	保育所職員給食費、幼稚園給食費	18,742千円																																											
諸収入	延長保育間食負担金	2千円																																											
成果・課題	<p>○法定年数による施設管理部品の交換や、老朽化した施設内部の修繕工事を実施し、施設の安全管理を適切に行った。</p> <p>○建設から数年が経過し、各施設とも改修要望が出ているが、施設改修にかかる費用とその波及効果を踏まえ、優先順位を付して修理等の対応を行う必要がある。</p>																																												
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																																												

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	03保育所委託事業																
細事業名	01 保育業務委託事業			決算書	P.166															
総合計画	計画項目 (旧計画項目)	25 子育て支援の総合的な推進 28 子育て支援の総合的な推進																		
決算額①	最終予算額②	不用額③(②-①)	執行率	(参考)当初予算額																
539,692千円	540,812千円	1,120千円	99.7%	596,912千円																
目的	保護者の就労等により、保育を必要とする児童の健全な心身の発達を図る。																			
主要な事務・事業の概要	<p>民間認可保育所の「ゆうかり乳児保育所」に2か月以上児から2歳児まで、「ゆうかり子ども園」「あみの夢保育園」に6か月以上児から5歳児までの保育を委託し、また、市立保育所のうち「大宮北保育所」「こうりゅう保育所」の2施設の運営を社会福祉法人に委託することにより、産休明け・育休明けの保育所利用、保育時間の延長や休日保育等、保護者の保育ニーズに対応した。</p> <p>○乳児保育委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆうかり乳児保育所 定員30人 平成29年3月末入所児童数：36人</li> </ul> <p>○公立保育所運営委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大宮北保育所 定員230人 平成29年3月末入所児童数：207人</li> <li>・こうりゅう保育所 定員120人 平成29年3月末入所児童数：111人</li> </ul> <p>○保育所運営委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あみの夢保育園 定員90人 平成29年3月末入所児童数：99人</li> </ul> <p>○認定こども園施設給付費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆうかり子ども園 定員150人 平成29年3月末入所児童数：167人</li> </ul>																			
主な財源	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>負担金</td> <td>保育料現年度分</td> <td>99,447千円</td> </tr> <tr> <td>国負・国補</td> <td>子どものための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金</td> <td>111,841千円</td> </tr> <tr> <td>府負・府補</td> <td>子どものための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金</td> <td>58,166千円</td> </tr> <tr> <td>府補</td> <td>民間社会福祉施設サービス向上補助金、多子世帯保育料減免市町村交付金 緑入金・諸収入</td> <td>1,644千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ふるさと応援基金緑入金、一時預かり事業利用料、延長保育料</td> <td>60,254千円</td> </tr> </tbody> </table>					負担金	保育料現年度分	99,447千円	国負・国補	子どものための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金	111,841千円	府負・府補	子どものための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金	58,166千円	府補	民間社会福祉施設サービス向上補助金、多子世帯保育料減免市町村交付金 緑入金・諸収入	1,644千円		ふるさと応援基金緑入金、一時預かり事業利用料、延長保育料	60,254千円
負担金	保育料現年度分	99,447千円																		
国負・国補	子どものための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金	111,841千円																		
府負・府補	子どものための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金	58,166千円																		
府補	民間社会福祉施設サービス向上補助金、多子世帯保育料減免市町村交付金 緑入金・諸収入	1,644千円																		
	ふるさと応援基金緑入金、一時預かり事業利用料、延長保育料	60,254千円																		
成果・課題	<p>保育を委託することで、保育時間の延長や休日保育など保護者の保育ニーズに対応した保育を実施し、保護者の子育てと仕事の両立支援につなげることができた。</p>																			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	03保育所委託事業	
細事業名	02 保育所保育事業等補助金		決算書	P.166	
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進			
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進			
決算額①	最終予算額②	不用額③(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
25,129千円	25,211千円	82千円	99.6%	26,096千円	
目的	私立保育所（公設民営保育所）が行う事業の円滑な運営ができるよう体制作り等に対して補助金を交付し、特別保育事業を推進する。				
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆうかり乳児保育所 3,010千円           <ul style="list-style-type: none"> <li>延長保育事業（人件費、光熱水費、おにぎり代他） 300千円</li> <li>民間社会福祉施設サービ<sup>ス</sup>向上事業（殺菌保管庫他購入） 510千円</li> <li>障害児保育事業（加配職員の人件費） 1,200千円</li> <li>保育業務支援システム導入 1,000千円</li> </ul> </li>   <li>・ゆうかり子ども園 15,020千円           <ul style="list-style-type: none"> <li>延長保育事業（人件費、光熱水費、おにぎり代他） 2,831千円</li> <li>民間社会福祉施設サービ<sup>ス</sup>向上事業（駐車場整備工事他） 2,346千円</li> <li>一時預かり事業（配置保育士の人件費） 543千円</li> <li>障害児保育事業（加配職員の人件費） 8,200千円</li> <li>保育業務支援システム導入、事故防止ビデオカメラ設置 1,100千円</li> </ul> </li>   <li>・あみの夢保育園 5,899千円           <ul style="list-style-type: none"> <li>延長保育事業（人件費、光熱水費、おにぎり代他） 1,342千円</li> <li>民間社会福祉施設サービ<sup>ス</sup>向上事業（エアコン他購入） 1,530千円</li> <li>一時預かり事業（配置保育士の人件費） 119千円</li> <li>障害児保育事業（加配職員の人件費） 2,815千円</li> <li>事故防止ビデオカメラ設置 93千円</li> </ul> </li>   <li>・大宮北保育所 1,100千円           <ul style="list-style-type: none"> <li>保育業務支援システム導入、事故防止ビデオカメラ設置</li> </ul> </li>   <li>・こうりゅう保育所 100千円           <ul style="list-style-type: none"> <li>事故防止ビデオカメラ設置</li> </ul> </li> </ul>				
主な財源	国補 子ども・子育て支援交付金（延長保育事業・一時預かり事業）(1/3) 1,867千円 府補 子ども・子育て支援交付金（延長保育事業・一時預かり事業）(1/3) 1,867千円 国補 保育対策総合支援事業費補助金(3/4) 2,544千円 府補 民間社会福祉施設サービ <sup>ス</sup> 向上補助金(1/2) 2,062千円				
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○補助金交付により延長保育・休日保育などを推進し、子育て支援と仕事の両立支援を図った。</li> <li>○施設修繕及び加配職員の配置への支援を行い、保育の受入体制を整え、多様な保育ニーズに対応した。</li> <li>○保育業務支援システム導入への支援を行い、保育士の業務負担軽減を図った。</li> <li>○事故防止ビデオカメラ設置への支援を行い、事故防止や事故後の検証体制の強化を図った。</li> </ul>				
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課				

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	04子育て支援セタ-事業																																																											
細事業名	01 子育て支援セタ-事業			決算書	P.166																																																										
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進																																																													
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進																																																													
決算額①	最終予算額②	不用額③(②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																																											
12,651千円	12,795千円	144千円	98.8%	13,940千円																																																											
目的	保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整える。																																																														
主要な事務・事業の概要	<p>幼稚園入園前・保育所入所前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、8か所の支援センターを設置することで、地域に密着した子育て支援を推進した。</p> <p>また、10月31日に開催した子育て講演会「親子ふれあい遊び」は、保護者73人、子ども85人、計158人の参加があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○支援センター利用数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地域子育て支援センター</th> <th colspan="2">延べ利用人数</th> </tr> <tr> <th>児童</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山</td> <td>2,513人</td> <td>1,953人</td> </tr> <tr> <td>大宮北</td> <td>1,935人</td> <td>1,733人</td> </tr> <tr> <td>大宮南</td> <td>1,455人</td> <td>1,209人</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>1,945人</td> <td>1,810人</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>1,089人</td> <td>949人</td> </tr> <tr> <td>弥栄</td> <td>1,219人</td> <td>988人</td> </tr> <tr> <td>かぶと山</td> <td>1,089人</td> <td>914人</td> </tr> <tr> <td>こうりゅう</td> <td>1,899人</td> <td>1,554人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,144人</td> <td>11,110人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○親子リフレッシュ体操教室</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">クラス</th> <th colspan="2">延べ利用人数</th> </tr> <tr> <th>児童</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ベビー</td> <td>210人</td> <td>201人</td> </tr> <tr> <td>リトルキッズ</td> <td>110人</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>キッズ</td> <td>84人</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>404人</td> <td>369人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 年間各10回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○なかよし広場</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">延べ利用人数</th> </tr> <tr> <th>児童</th> <th>保護者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>369人</td> <td>347人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 毎月1回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○臨時職員賃金及び共済費</li> <li>○子育て講座・親子体操教室講師謝礼</li> <li>○旅費</li> <li>○通信運搬費・手数料</li> <li>○その他経費（消耗品費等）</li> </ul>	地域子育て支援センター	延べ利用人数		児童	保護者	峰山	2,513人	1,953人	大宮北	1,935人	1,733人	大宮南	1,455人	1,209人	網野	1,945人	1,810人	丹後	1,089人	949人	弥栄	1,219人	988人	かぶと山	1,089人	914人	こうりゅう	1,899人	1,554人	合計	13,144人	11,110人	クラス	延べ利用人数		児童	保護者	ベビー	210人	201人	リトルキッズ	110人	101人	キッズ	84人	67人	合計	404人	369人		延べ利用人数		児童	保護者	合計	369人	347人					
地域子育て支援センター	延べ利用人数																																																														
	児童	保護者																																																													
峰山	2,513人	1,953人																																																													
大宮北	1,935人	1,733人																																																													
大宮南	1,455人	1,209人																																																													
網野	1,945人	1,810人																																																													
丹後	1,089人	949人																																																													
弥栄	1,219人	988人																																																													
かぶと山	1,089人	914人																																																													
こうりゅう	1,899人	1,554人																																																													
合計	13,144人	11,110人																																																													
クラス	延べ利用人数																																																														
	児童	保護者																																																													
ベビー	210人	201人																																																													
リトルキッズ	110人	101人																																																													
キッズ	84人	67人																																																													
合計	404人	369人																																																													
	延べ利用人数																																																														
	児童	保護者																																																													
合計	369人	347人																																																													
主な財源	国補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 1,867千円 府補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 1,867千円 国補 保育対策総合支援事業費補助金(3/4) 2,544千円 府補 民間社会福祉施設サービ <sup>ス</sup> 向上補助金(1/2) 2,062千円			国補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 3,787千円 府補 子ども・子育て支援交付金(1/3) 3,787千円																																																											
成果・課題	○保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進が図られた。																																																														
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																																																														

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	05子育て短期支援事業																									
細事業名	01 子育て短期支援事業			決算書	P.168																								
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進																											
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進																											
決算額①	最終予算額②	不用額③(②-①)	執行率	(参考)当初予算額																									
665千円	666千円	1千円	99.8%	1,173千円																									
目的	保護者が就労や疾病等の理由により家庭で養育することが一時的に困難となった場合、該当児童を乳児院等で一定期間養育し、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。																												
主要な事務・事業の概要	<p>家庭において、保護者が疾病その他の理由において児童を養育することが一時的に困難となった児童（小学校第4学年までの者）に対し、乳児院等で保護者に代わって養育する事業を社会福祉法人みねやま福祉会に委託し実施した。          （延べ利用児童数136人）</p> <table> <tr> <td>○子育て短期支援事業</td> <td>子育て短期支援事業委託料</td> <td>665千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">（延べ利用児童数等）</td> </tr> <tr> <td>○、1歳児</td> <td>生活保護世帯（1人）</td> <td>10千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>母子父子・非課税世帯（8人）</td> <td>77千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他の世帯（11人）</td> <td>59千円</td> </tr> <tr> <td>2歳児以上</td> <td>生活保護世帯（55人）</td> <td>302千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>母子父子・非課税世帯（28人）</td> <td>126千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他の世帯（33人）</td> <td>91千円</td> </tr> </table>					○子育て短期支援事業	子育て短期支援事業委託料	665千円	（延べ利用児童数等）			○、1歳児	生活保護世帯（1人）	10千円		母子父子・非課税世帯（8人）	77千円		その他の世帯（11人）	59千円	2歳児以上	生活保護世帯（55人）	302千円		母子父子・非課税世帯（28人）	126千円		その他の世帯（33人）	91千円
○子育て短期支援事業	子育て短期支援事業委託料	665千円																											
（延べ利用児童数等）																													
○、1歳児	生活保護世帯（1人）	10千円																											
	母子父子・非課税世帯（8人）	77千円																											
	その他の世帯（11人）	59千円																											
2歳児以上	生活保護世帯（55人）	302千円																											
	母子父子・非課税世帯（28人）	126千円																											
	その他の世帯（33人）	91千円																											
主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）	221千円																										
	府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）	221千円																										
成果・課題	<p>○保護者の冠婚葬祭・就労・就学・傷病・学校等行事への参加による一時的な利用があり、養育を必要とする児童及びその家庭の福利向上につなげることができた。          ○事業の円滑な利用のために、委託先の社会福祉法人みねやま福祉会と家庭こども相談室の連携が必要である。</p>																												
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																												

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	08病後児保育事業	
細事業名	01 病後児保育事業			決算書	P.168
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進			
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進			
決算額①	最終予算額②	不用額③(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
2,407千円	2,407千円	0千円	100.0%	4,443千円	
目的	病気の回復期にあり、集団保育が困難な児童を一時に保育することにより、保護者の子育てと就労の両立等を支援するとともに、児童の福祉の向上を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>○病後児保育事業委託料          人件費（看護師及び保育士） 2,006千円          加算分（利用者10人以上50人未満） 401千円          （委託料は国基準により算定）</p> <p>※利用実績          申請件数 21件（利用予定日 30日）          利用実績 11件（利用日数 12日）          申請取下げ 10件          取下げ理由：病気が回復し、通常の保育所等へ通所可能になったため</p> <p>※利用者拡充のための取組み状況          広報「きょうたんごおしらせ版」掲載、市内の小児科標準医療機関でチラシ掲示          京丹後市HP掲載、FMたんご放送、幼稚園長・保育所長・小学校長へ制度周知          看護師が保護者向けのお便り作成・配布</p> <p>※病後児保育事業の概要          実施場所：ゆうかり子ども園施設内の専用スペース          実施体制：看護師1人、保育士1人          利用定員：1日6人以内          利用時間：午前8時～午後6時          利用料：2千円/日、4時間未満の場合1千円（減額措置あり）          実施形態：みねやま福祉会へ事業委託</p>				
主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）	802千円		
	府負	子ども・子育て支援交付金（1/3）	802千円		
成果・課題	<p>○平成27年11月に事業開始し、保護者の子育てと仕事の両立を支援する体制を整えた。          ○利用のない日に看護師が地域の保育所等へ情報提供や巡回支援等を実施するなど制度を周知し、利用の拡大を図ることが課題である。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課				

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	50保育所一般経費	
細事業名	01 保育所一般経費			決算書	P.168
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進			
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進			
決算額①	最終予算額②	不用額③(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
465,198千円	468,022千円	2,824千円	99.3%	472,103千円	
目的	保育所入所児童の健康管理、臨時職員の雇用、職員等の研修、児童の送迎バス運行、給食調理業務等により保育所の円滑な運営を図る。				
主要な事務・事業の概要	保育環境を整え運営が円滑に行われるよう、臨時保育士の任用や児童の健康管理経費、給食調理業務、広域入所委託費、職員の資質向上のための研修経費を支出した。  ＜支出内訳＞ 1. 保育所運営に関する経費 ○臨時職員（保育士、調理員、作業員）賃金及び共済費 342,455千円 ○健康診断実施手数料（非常勤職員）、大腸菌検査手数料 674千円 ○給食調理業務委託料（6保育所） 40,108千円 ○児童送迎運行、遠足等バス借上費用等 36,676千円 ○保育所用地借上料及び建物火災保険料 1,808千円 ○広域入所委託料（他市町村への入所委託費） ※実績 10人 3,290千円 ○備品購入費（保育所送迎車両、給食管理ソフトなど） 3,350千円 ○各種負担金（日本スポーツ振興センター・府保育協会負担金ほか） 647千円 ○その他（消耗品費、燃料費、車検費用、重量税、賠償金ほか） 15,447千円 2. 児童の健康管理に関する経費 ○嘱託医報酬（内科8人、歯科11人）、費用弁償等 5,470千円 ○園児検診委託料（耳鼻科・眼科・尿ぎょう虫検査）、自動車借上料 554千円 3. 職員の研修に関する経費 ○講師謝礼、研修等参加旅費、負担金等 472千円 4. 一時預かり事業関係経費 ○臨時等職員賃金（保育士） 14,247千円 延べ利用児童数 995 人				
主な財源	負担金 国負・国補 府負・府補 諸収入 市債	保育料現年度分、日本スポーツ振興センター-保護者負担金 子どものための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金 子どものための教育・保育給付費負担金、子ども・子育て支援交付金 ほか 一時預かり事業利用料、延長保育料、保育所給食調理機器類貸付料 ほか 児童福祉施設整備事業債（過疎対策債）	89,444千円 57,849千円 43,363千円 4,441千円 3,000千円		
成果・課題	保育所運営を実施するために、施設管理、職員確保、児童・職員の健康管理などの業務を実施することで、円滑な保育所運営を行うことができた。				
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課				

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	04園児等健康管理事業	
細事業名	01 園児等健康管理事業				決算書 P.338
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進			
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進			
決算額①	最終予算額②	不用額③(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
344千円	496千円	152千円	69.3%	496千円	
目的	幼稚園における円滑な教育活動を実施するため、専門医による検診や保健衛生管理を行い、園児の健康保持と増進を図る。				
主要な事務・事業の概要	園児の健康保持と増進のため、各種検診や検査を実施。				
	○ 各種検診・検査 眼科検診委託料 185人 57千円 耳鼻科検診委託料 187人 80千円 尿検査委託料 191人 27千円 ぎょう虫検査委託料 191人 27千円	191千円			
	○ 保健衛生消耗品・医薬材料費	146千円			
	○ 自動車借上料（医師検診用）	7千円			
主な財源	使用料 幼稚園保育料	91千円			
成果・課題	○学校保健安全法をはじめとする関係法令に基づき、各種検診・検査を適正に実施し、園児の健康管理及び健康づくりに努めた。 ○今後も園児の健診を実施し、疾病の早期発見と予防に努める必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課				

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	02幼稚園管理運営事業
細事業名	02 幼稚園スクールサポーター等設置事業		決算書	P.338
総合計画	計画項目 (旧計画項目)	25 子育て支援の総合的な推進 28 子育て支援の総合的な推進		
	決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率 (参考)当初予算額
	32,616千円	32,643千円	27千円	99.9% 33,572千円
目的	幼稚園に介護職員及び預かり保育職員を配置することで、適正かつ円滑な幼稚園運営を行う。			
主要な事務・事業の概要	<p>クラスの園児数や園児の発育状況に応じ臨時職員を配置するとともに、特別な支援を必要とする園児に対しては、個別に指導計画を作成し、発達に応じた指導を継続的に実施していくことを目的に職員を配置した。</p> <p>また、保護者の就労等による幼稚園教育に対するニーズに応え、全園で預かり保育事業を行い、14時以降の保育についても適正な人員配置を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 臨時職員賃金 28,797千円 (H27年度) <ul style="list-style-type: none"> <li>介護職員 6人 (4人)</li> <li>預かり保育職員 3人 (1人)</li> <li>介護・預かり保育職員 9人 (4人)</li> <li>作業員 1人 (1人)</li> </ul> </li> <li>○ 共済費（社会保険料・労災保険料） 3,819千円</li> <li>○ 預かり保育の利用実績（実人数） 91人 (82人)</li> </ul>			
主な財源	使用料 国補 府補 諸収入	幼稚園保育料 子ども・子育て交付金 子ども・子育て交付金 幼稚園預かり保育料	8,748千円 1,901千円 1,901千円 2,217千円	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○クラスの園児数や特別な支援を必要とする園児を視野に入れた職員配置を行うことで、幼稚園の円滑な運営を行うことができた。</li> <li>○預かり保育については、今後も利用者の増加が予想されるため、利用者数の変動に柔軟に対応できる人員配置を行う必要がある。</li> </ul>			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	02幼稚園管理運営事業																																																																																
細事業名	01 幼稚園管理運営事業		決算書	P.338																																																																																
総合計画	計画項目 (旧計画項目)	25 子育て支援の総合的な推進 28 子育て支援の総合的な推進																																																																																		
	決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率 (参考)当初予算額																																																																																
	12,524千円	13,964千円	1,440千円	89.6% 16,720千円																																																																																
目的	適正な幼稚園運営や教育環境の充実に取り組み、就学時前教育の充実を図る。																																																																																			
主要な事務・事業の概要	<p>幼稚園運営に必要な維持管理を行い、必要経費を支出した。預かり保育事業の実施により、保護者の就労等による幼稚園における子育て支援のニーズに応えることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">園児数 (H29.3.31現在)</th> <th colspan="4">預かり保育 (延べ利用人数)</th> </tr> <tr> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th>計</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山幼稚園</td> <td>9人</td> <td>15人</td> <td>10人</td> <td>34人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>大宮幼稚園</td> <td>20人</td> <td>20人</td> <td>18人</td> <td>58人</td> <td>13人</td> <td>5人</td> <td>9人</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>網野幼稚園</td> <td>12人</td> <td>6人</td> <td>13人</td> <td>31人</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>5人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>丹後幼稚園</td> <td>9人</td> <td>5人</td> <td>4人</td> <td>18人</td> <td>10人</td> <td>2人</td> <td>5人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>弥栄幼稚園</td> <td>8人</td> <td>4人</td> <td>6人</td> <td>18人</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>かぶと山幼稚園</td> <td>14人</td> <td>9人</td> <td>1人</td> <td>24人</td> <td>9人</td> <td>7人</td> <td>1人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>72人</td> <td>59人</td> <td>52人</td> <td>183人</td> <td>44人</td> <td>22人</td> <td>25人</td> <td>91人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○バス運転委託料、自動車借上料（園外活動） 186千円  ○一般管理経費  教諭研修等旅費等 759千円  消耗品費・燃料費・光熱水費等 10,555千円  各種負担金 175千円  備品購入費 218千円  通信運搬費・各種手数料等 499千円  使用料及び賃借料 99千円  報償物品（卒業記念品） 33千円</p>					園児数 (H29.3.31現在)				預かり保育 (延べ利用人数)				3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計	峰山幼稚園	9人	15人	10人	34人	3人	3人	2人	8人	大宮幼稚園	20人	20人	18人	58人	13人	5人	9人	27人	網野幼稚園	12人	6人	13人	31人	5人	2人	5人	12人	丹後幼稚園	9人	5人	4人	18人	10人	2人	5人	17人	弥栄幼稚園	8人	4人	6人	18人	4人	3人	3人	10人	かぶと山幼稚園	14人	9人	1人	24人	9人	7人	1人	17人	計	72人	59人	52人	183人	44人	22人	25人	91人
	園児数 (H29.3.31現在)					預かり保育 (延べ利用人数)																																																																														
	3歳児	4歳児	5歳児	計	3歳児	4歳児	5歳児	計																																																																												
峰山幼稚園	9人	15人	10人	34人	3人	3人	2人	8人																																																																												
大宮幼稚園	20人	20人	18人	58人	13人	5人	9人	27人																																																																												
網野幼稚園	12人	6人	13人	31人	5人	2人	5人	12人																																																																												
丹後幼稚園	9人	5人	4人	18人	10人	2人	5人	17人																																																																												
弥栄幼稚園	8人	4人	6人	18人	4人	3人	3人	10人																																																																												
かぶと山幼稚園	14人	9人	1人	24人	9人	7人	1人	17人																																																																												
計	72人	59人	52人	183人	44人	22人	25人	91人																																																																												
主な財源	使用料 諸収入 諸収入	幼稚園保育料 幼稚園預かり保育料 幼稚園費受託事業収入	4,643千円 1,177千円 478千円																																																																																	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児期の特性を踏まえ、児童の環境に応じた教育を行うことを基本に、人格形成に基礎を培う就学時前教育の場を提供することができた。</li> <li>○子ども子育て支援新制度が施行される中、本市においても今後さらに、市域における就学時前教育の充実を図ることが必要である。</li> </ul>																																																																																			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																																																																																			

予算科目	10教育費	04幼稚園費	01幼稚園費	05幼稚園施設管理事業	
細事業名	01 幼稚園施設管理事業		決算書	P.340	
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進			
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進			
決算額①	最終予算額②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
1,385千円	1,462千円	77千円	94.7 %	1,462千円	
目的	幼稚園施設の適切な維持管理により、良好な学習環境の確保を図る。				
主要な事務・事業の概要	市内6幼稚園について、幼稚園を運営する上で必要な検査、保守管理委託、事務機器のリース、施設修繕等を実施した。  ＜支出内訳＞ ○貯水槽法定検査手数料 9千円 ○建物火災保険料 406千円 ○施設管理等委託料（9業務） 773千円 ・空調設備保守点検、消防設備等保守点検、 電気設備保守管理、自動ドア保守点検、施設警備、 貯水槽性総点検、ガスタンク保守、害虫駆除、グリストラップ処理  ○事務機器等リース料 126千円 ・複写機 4台 印刷機 2台  ○修繕費 71千円 ・網野幼稚園テラス窓ガラス修繕及び印刷機部品交換ほか				
主な財源					
成果・課題	施設の維持管理を適切に行うことで、円滑な幼稚園の運営を行うことができた。				
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課				

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	04ファミリーサポートセンター事業	
細事業名	01 ファミリーサポートセンター事業			決算書	P.160
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進			
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進			
決算額①	最終予算額②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
76千円	95千円	19千円	80.0 %	95千円	
目的	子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月～小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。				
主要な事務・事業の概要	登録から5年が経過するまかせて会員を対象に、子どもの世話や発達に関する知識の再確認のための登録更新講習会を実施した。また、会員の交流を深めるための会員交流会を実施した。  ○実施事業内容 ・新規登録会員講習会及び登録更新講習会 参加者 1人  ○会員数（29年3月末） ・おねがい会員 71人 ・まかせて会員 18人 ・両方会員 2人 ※活動延件数 24件 ※利用者実人数 依頼（おねがい）会員：6人 援助（まかせて）会員：6人  ○事業費 ・旅費（普通旅費） 5千円 ・需用費（消耗品費） 10千円 ・役務費（補償保険料） 56千円 ・報償費（会員交流会講師謝金） 5千円  ○助成金 ・国補 子ども・子育て支援交付金（1/3） 25千円 ・府補 子ども・子育て支援交付金（1/3） 25千円				
主な財源					
成果・課題	○援助会員の講習会で、受講者に子どもの世話や看病の仕方を再確認する機会を提供し、援助技能の向上を図った。 ○利用実人数は昨年度と概ね同じであり、限られた会員のみが活動している状況が課題である。				
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課				

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	06子ども未来まちづくり審議会事業	
細事業名	01 子ども未来まちづくり審議会事業			決算書	P.162
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進 (旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進		
	決算額①	最終予算額②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
	194千円	194千円	0千円	100.0 %	184千円
目的	すべての子どもが健康で幸せに暮らせるまちづくりの推進及び子ども・子育て支援事業計画、保育所再編等推進計画、特定教育・保育施設の利用定員の設定等に関して審議する。				
主要な事務・事業の概要	平成23年度から平成27年度までの期間を定め策定した京丹後市保育所再編等推進計画を見直し、第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定するため審議会を開催した。 ○報酬（審議会委員） 委員：10人 5回開催 168千円 ○旅費（費用弁償） 26千円				
	○審議会開催状況				
	日程等	審議内容			
	第1回会議 (7月13日)	・第2次保育所再編等推進計画の策定にかかる諮問について ・京丹後市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について			
	第2回会議 (8月31日)	・市内の保育所、幼稚園、こども園視察			
	第3回会議 (9月30日)	・第2回審議会（視察）のまとめ ・検討課題の確認 ・第2次保育所再編等推進計画の方向性について			
	第4回会議 (11月21日)	・第2次保育所再編等推進計画の答申（案）について			
	第5回会議 (3月23日)	・こうりゅう虹保育園の利用定員について			
主な財源					
成果・課題	○過疎化や少子化による小規模保育所及びこども園化していない単独幼稚園利用者の減少、保育所の民営化、認定こども園化について検討する必要がある中、課題について調査研究・慎重審議し、第2次京丹後市保育所再編等推進計画（案）について、市長へ答申することができた。 ○子ども・子育て支援事業計画の進行管理のほか、子どもや子育てに関わる事項の調査や実態を把握する必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課				



## 京丹後市教育振興計画

## 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	松本 駿治

重点目標	2 確かな学力・生き抜く力を育みます
基本的方針	

1. 施策の方向性 **PLAN**

小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。

## 1. 小中一貫教育の推進

①「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む小中一貫教育を着実に進めます。  
 ②中学校区を単位とした共通の目標を設定し、その実現に向けて系統的に一貫性のある学校園の教育活動を進めます。  
 ③小中一貫教育等について保護者や地域の理解を得るとともに連携を深めるため、教育フォーラムを開催するなど、学校教育改革に関する情報提供の機会を拡充します。  
 ④学識経験者や市民、保護者及び学校園関係者等が、学校教育改革を適切に検証・評価し、取り組みの改善を進めます。  
 ⑤小中一貫教育等における目標の実現状況や教育活動の成果が明らかになるよう、学校評価を充実します。

## 2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上

①子どもの発達や学習の特性等に応じた保幼小中一貫の教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校修了までの系統的な指導を実施するとともに、小中学校の接続期の指導を充実します。  
 ②教職員の授業実践力や生徒指導力を高める研修を充実します。  
 ③加配教職員やスクールサポートを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。  
 ④京丹後市への愛着と誇り、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施します。  
 ⑤子どもたちの基本的な生活習慣や家庭学習習慣の確立等について、学校園と家庭が連携した取り組みを充実します。  
 ⑥中学校区を単位として学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。  
 ⑦市民が学校の教育活動を積極的に支援する学校支援ボランティアの取組みを拡充します。  
 ⑧放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制作りを進めます。

## 3. 確かな学力の育成

①小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間の系統的な学習指導を実現します。  
 ②全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用した指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に行います。  
 ③すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。  
 ④「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。  
 ⑤自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モデル校等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。  
 ⑥家庭学習が学校が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。  
 ⑦学校支援ボランティアや大学のもつ専門性を活用したり、小中学校・高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取組みを充実します。  
 ⑧子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。  
 ⑨「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通した探究活動を充実し、自己の生き方・あり方にについて深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。  
 ⑩児童生徒の学習に対する興味・関心や意欲を高めるため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。  
 ⑪小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。

## 【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第二次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～平成36年度	
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力をすべての生徒が確実に身に付けることができるようしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

## 2.

※各事業の評価・課題について  
は、別紙決算附属資料参照

## ACT

## CHECK

## PLAN

## DO

主な取り組み	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	H27決算額	H28決算額	H29予算額	事務の改善 評価を踏まえた今 後の方向性	
1. 小中一貫教育の推進	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの「確かな学力」と「社会を生き抜く力」を育む小中一貫教育を着実に進めます。	学校教育課	1,071	684	695	現状維持	
2. 小中一貫教育実践事業	「京丹後市の中学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指すより良い教育の推進に向け、平成28年度から市内全域で小中一貫教育を実践する。	学校教育課	-	6,341	7,168	現状維持	
3. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上	主な取り組み	決算額(単位:千円)	H27決算額	H28決算額	H29予算額	事務の改善 評価を踏まえた今 後の方向性	
4. 事務事業名称・事業内容(実績)	① 子どもの発達や学習の特性等に応じた保幼小中一貫の教育課程により、すべての学校園で就学前から中学校修了までの系統的な指導を実施するなどに、小中学校の接続期の指導を充実します。 ② 教職員の授業実践力や生徒指導力を高める研修を充実します。 ③ 配属教職員やスクールサポーターを効果的に配置し、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じた指導体制を整えます。 ④ 京丹後市への理解を深め、郷土への愛着と誇り、地域生活への意欲を系統的に育む「丹後学」を、地域の人々の協力と参画により、すべての小中学校で実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。 ⑤ 中学校区を単位として学校園、家庭及び地域が育みたい子ども像や課題を共有し、連携・協力して進める地域の教育環境づくりを推進します。 ⑥ 市民が学校の教育活動を積極的に支援する学校支援ボランティアの取り組みを充実します。 ⑦ 放課後における学習や体験活動の充実に向け、学校、家庭及び地域が連携し、地域ぐるみの学習環境の体制作りを進めます。	担当課					
5. 授業実践力向上対策事業	新・授業実践力開発講座、小中一貫出前講座及び教育実践力サポート講座を開設し、教員の資質向上を図る。	学校教育課	409	392	452	現状維持	
6. 学習支援体制整備事業	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。	学校教育課	1,458	30,158	2,934	拡大	
7. 小学校教育振興事業	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校のニーズ」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。	学校教育課	-	-	-	現状維持	
8. 小学校教育振興品整備事業	3. 確かな学力の育成	決算額(単位:千円)	H27決算額	H28決算額	H29予算額	事務の改善 評価を踏まえた今 後の方向性	
9. 小学校就学援助事業	主な取り組み						
10. 中学校教育振興事業	① 小中一貫教育により校種間を円滑に接続し、就学前から中学校卒業までの10年間の系統的な学習指導を実現します。 ② 全国学力・学習状況調査の結果が、現在、全国・府平均を上回っている学力についても、診断結果をもとに児童生徒の学力状況をきめ細かく把握するとともに、分析結果を活用する指導改善により、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を継続的に行います。 ③ すべての教科や特別活動に「言語活動」や「コミュニケーション活動」の充実を位置付け、系統的・継続的な指導を行います。 ④ 「丹後学」において京丹後市の学習素材を活かした体験的な学習や問題解決的な学習を行うなど、児童生徒が目的意識を持って主体的に取り組む学習を充実します。 ⑤ 自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等、習得した知識や技能を活用する力を育成するため、教育実践モチーフ等を指定し、その実践と成果をすべての学校園に普及します。 ⑥ 家庭学習が定着するよう、学校と家庭が連携して児童生徒の主体的な学習習慣を育成します。 ⑦ 学校支援部ランティアや大卒のもつ専門性を活用したり、小中学校、高等学校が積極的に連携・交流したりするなど、児童生徒の知的好奇心や学習意欲を育むための取り組みを充実します。	事務事業名稱・事業内容(実績)	担当課	H27決算額	H28決算額	H29予算額	評価を踏まえた今 後の方向性
11. 中学校教育振興品整備事業	6. 教科用図書採択事業						
	市立学校で使用する教科用図書(使用期間は原則4年間)の公正かつ適正な採択を行うため、丹後教科用図書採択地区協議会において教科用図書の調査・研究を行つ。	学校教育課	120	-	40	現状維持	
	7. 小学校教育振興事業						
	副読本や学習教材を有效地に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。	学校教育課	31,056	24,280	27,339	現状維持	
	8. 小学校教育振興品整備事業						
	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。	学校教育課	11,680	10,308	11,357	現状維持	
	9. 小学校就学援助事業						
	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。	学校教育課	19,809	19,084	20,711	現状維持	
	10. 中学校教育振興事業						
	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。	学校教育課	49,675	36,495	35,751	現状維持	
	11. 中学校教育振興品整備事業						
	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。	学校教育課	10,610	10,085	9,407	現状維持	

12.中学校就学援助事業 要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。	学校教育課	25,398	25,902	26,124	現状維持
④社会を生き抜く力の育成					
事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	決算額(単位:千円)	H27決算額	H28決算額	事務の改善
①子どもたちが将来、社会的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力を身に付けるため、就学前教育から義務教育修了時まで各学校段階を通じた体系的・系統的なキャリア教育を推進します。		H29予算額	評価を踏まえた今後の方向性		
②「丹後学」において、郷土とそこに生きる人々を通して探究活動を充実し、自己の生き方・あり方について深く考える力を育てるとともに、児童生徒の将来への夢や希望を育みます。					
③児童生徒の学習に対する興味・关心や意欲を高めるため、情報通信ネットワークやコンピュータなどのICT環境を整備します。					
④小学校低学年から英語に親しむ活動を充実するなど、国際社会に生きる日本人としての基礎的な能力を系統的に育成します。					
13.学校情報化推進事業 小中学校の情報通信ネットワーク機器の整備及び維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と利用価値の高い学校情報化の環境を構築する。	学校教育課	9,589	22,232	38,778	拡大
14.小・中学校情報教育環境整備事業・再編交付金活用事業(『再掲』)	学校教育課	-	-	-	現状維持
平成26年度に整備した市内の全小中学校27校(小学校20校、中学校7校)の情報教室パソコン等のリースを行なうもの。					
15.児童生徒国際交流事業 語学力の向上はもとより、国際感覚をもちグローバル社会で活躍できる人材育成へつながる国際交流事業を推進する。	学校教育課	-	3,300	4,129	拡大
16.外国語指導助手招致事業 外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。	教育総務課	26,503	27,705	27,071	現状維持
17.国際交流員招致事業 一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。	学校教育課	-	2,997	4,350	現状維持
上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業					
事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	決算額(単位:千円)	H27決算額	H28決算額	事務の改善
18.奨学金事業 経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。	教育総務課	16,842	28,303	26,655	現状維持
	計	204,220	241,925	235,793	

3. 教育振興計画で掲げている主な目標・指標

**基本の方針**

小中一貫教育を柱とする学校教育改革の推進により子どもの成長に応じた指導の一貫性を確保する体制を充実することで「確かな学力」を育み、あわせて、学校園、家庭及び地域が協働し、相互に連携しながら教育力の向上を図ります。一人ひとりの個性や能力、確かな学力を育むとともに、地域社会への理解と関心を高め、グローバル化等の社会の変化に対応するなど、将来への夢と希望を基盤として未来を切り拓くことのできる「生き抜く力」を育みます。

目標指標	単位	計画作成時 年度	実績値(現状) 年度		目標値 年度
			年度	(達成度)	
学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)	中学校区	0	H25 (導入校)	H28 6 (全中学校区 で実施)	H36
学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童の割合<小学生>	%	73.2 「全国学力・学習状況調査(児童質問紙)」(小6)	H25	76.3 H28	80%以上 H36
一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着	%	50.6 「全国学力・学習状況調査(生徒質問紙)」(中3)	H25 正答率	55.2 H28	70%以上 H36
将来の夢や目標を持っている生徒の割合<中学生>	%	70.0 「全国学力・学習状況調査(中3生徒質問紙)」(中3)	H25	66.5 H28	90%以上 H36

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題「基本の方針」の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか】

28年度成果と今後の課題

◎ 予定以上に進んでいる	評価	『学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立(実施中学校区)』 全ての学校園の学校関係者評価の必須項目に「小中一貫教育の推進」を設定し、学園の取組等についての検証・評価を各校園単位によりPDCAサイクルで進めることができた。一方で、学園単位での学校と地域との連携組織を設置し学園評価を進めることについては、全ての学園とははっていないものの導入準備は確実に進んでいる。今後は、全ての学園単位においてPDCAサイクルの確立を早期に実現する必要がある。
▲ 少し遅れている		
✗ 大幅に遅れている		
○		

『学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合』

小中一貫教育の推進により、各学園で「家庭学習の手引き」を作成し、学習習慣の定着に向けた指導をしてきたことなどから、中学生では、部活動や生活習慣等の影響による家庭学習時間の確保が課題となる中、増加傾向にある。一方で小学生の家庭学習の時間は、前年度と比較して減少に転じていることから、家庭学習の充実に向けて家庭との連携を進め、小中学校での家庭学習習慣の定着をより図っていく必要がある。

『一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着』

平成28年度は、全ての教科で全国平均を上回った平成26年度には及ばなかったものの概ね全国平均を上回った。これは、各学園・学校が本調査等の結果を分析し、授業改善や個の課題に応じた支援を行ったことや小中一貫教育の全般実施により、指導方法の一貫性、連続性、系統性を意識した指導が確実に進んでいる成果と考えている。引き続き児童生徒の学力の維持・向上を図るために、授業改善や各学園での授業研究等を推進していく必要がある。

『将来の夢や目標を持っている生徒の割合』

将来の夢や目標を持っている本市生徒の割合は、全国・府平均に比べて低い状況にある。引き続き、キャリア教育の視点も入った「丹後学」のモデルカリキュラムを積極的に活用するとともに、生徒の自己肯定感を高める取組や

小中一貫教育によるキャリア教育による夢や目標を持つ生徒の割合を高めていく必要がある。

5. 今後の施策展開の考え方(平成29~31年度までの3か年の主な取組) **A C T**

区分	No.	具 体 的 内 容
1	1	28年度からの小中一貫教育の全市展開を踏まえ、学園単位によるPDCAサイクルの確立とその検証・評価に基づく小中一貫教育推進基本計画等の適切な改訂を行う。また、各学園を会場とした市教育フォーラム等の啓発活動により、教職員・保護者・地域住民への成果の明確化を図る。
2	2	学園コードィネーター等の配置を継続し、各学園に設置された学校・地域連携協議会の更なる充実図ることとも、学校、家庭、地域が連携した学習環境の体制作り、目指す子ども像に基づく学校・地域が連携した取組等の立案を推進する。
3	3	小中一貫教育モデルカリキュラム及び保幼小接続モデルプラン等の改訂・活用による各学園での実施の一貫性のある指導を充実させるため、授業改善・授業研究を更に推進するとともに、全国学力・学習状況調査の分析結果を活用し個に応じた細かい指導の充実を図る。
4	4	総合的な学習の時間を利用した「丹後学モデルカリキュラム」の自校化に向けた取組の推進と興味・関心・意欲を高めるICT機器の整備推進を図るとともに、中学生の海外派遣や児童生徒の国際交流等を推進することにより、国際社会を生きる日本人としての基礎的な能力の育成を図る。

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11小中一貫教育推進事業
細事業名	01 小中一貫教育推進事業		決算書	P.312
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額③(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
684千円	772千円	88千円	88.6%	1,142千円
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。			
主要な事務・事業の概要	<p>小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による調査研究を行うとともに、「小中一貫全市展開」及び「京丹後市学校教育指導の重点ダイジェスト版」のポスター・チラシを作成した。また、「京丹後市小中一貫教育モデルカリキュラム」を増刷し、各学校等へ配布した。</p> <p>平成28年度より市内全域での小中一貫教育を実施し、教育活動の実践、検証、評価を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償、視察旅費ほか） 361千円           <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会委員 14人（大学教授、学識経験者、PTA、学校教職員等）</li> <li>・協議会の開催 3回</li> <li>・調査研究事業 小中一貫教育実施校における効果と課題の整理</li> </ul> </li>   <li>○学校教育連携専門部会（消耗品費、印刷製本費） 308千円           <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門部会 学校運営部員 6人 カリキュラム作成部員 8人</li> <li>・開催回数 学校運営部会 3回 カリキュラム作成部会 15回</li> </ul> <p>丹後学（6回）、社会科（7回） 新学習指導要領検討部会（2回）</p> </li>   <li>○教育フォーラムの開催（消耗品費） 15千円           <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育フォーラム （参加者：120人）</li> <li>開催日： 平成28年12月1日（木）</li> <li>場所： 網野中学校</li> </ul> </li> </ul>			
主な財源				
成果・課題	<p>○平成28年度より小中一貫教育が市内全域での実施となり、小中一貫教育推進基本計画に基づくより良い教育体制の整備を推進することができた。</p> <p>○小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ねた。</p> <p>○引き続き、小中一貫教育を推進するための研究及び検証を進める必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11小中一貫教育推進事業
細事業名	02 小中一貫教育実践事業		決算書	P.312
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額③(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
6,341千円	7,170千円	829千円	88.4%	7,170千円
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指すより良い教育の推進に向け、平成28年度から市内全域で小中一貫教育を実践する。			
主要な事務・事業の概要	<p>○小中一貫教育の実践（報償費、消耗品費、印刷製本費等） 3,552千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・峰山学園（合唱祭、清掃活動、部活・授業体験、講演会等）</li> <li>・大宮学園（合唱祭、清掃活動、授業研究会等）</li> <li>・網野学園（合唱祭、部活動体験、リーフレット作成等）</li> <li>・丹後学園（合唱祭、小小連携交流会、PTA連携あいさつ運動、授業研究会等）</li> <li>・弥栄学園（合唱祭、心の文化発表会、部活動体験等）</li> <li>・久美浜学園（体育祭、あいさつ運動、リーフレット作成、授業研究会等）</li> </ul> <p>・特色ある学校づくりの支援（報償費、消耗品費、委託料等） 1,613千円</p> <p>実施校：小学校14校、中学校5校</p> <p>主な取組内容：郷土学習、環境学習、農業体験ボランティア学習、キャリア学習等</p> <p>○学園看板（網野学園、丹後学園、弥栄学園、久美浜学園） 1,176千円</p>			
主な財源	<p>繰入金 ふるさと応援基金繰入金 4,000千円</p>			
成果・課題	<p>○平成28年度より小中一貫教育が市内全域で完全実施となり、各学園が教育目標「目指す子ども像」を設定し、カリキュラムや指導方法等を統一することにより、学園内の小中学校が一体となった教育活動を系統的に行うことができた。</p> <p>○合唱祭等の小中連携、合同校外学習等の小小連携、合同避難訓練等の幼保小中連携等、学園内の小中学校が連携した教育活動の充実を図ることができた。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業
細事業名	03 授業実践力向上対策事業		決算書	P.312
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実 (旧計画項目) 29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
	392千円	471千円	79千円	83.2 %
				471千円
目的	新・授業実践力開発講座、小中一貫出前講座及び教育実践力サポート講座を開設し、教員の資質向上を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>教職員が指導理論を学ぶ授業実践力開発講座及び出前講座を実施した。また、小中学校教員が実践課題を克服し、創意工夫、改善を加えた授業への実践力を身に付けるため、教育実践力サポート講座を実施した。</p> <p>○新・授業実践力（学級経営力向上）開発講座（講師謝金ほか） 254千円 経験豊富な教職員をコーディネーターとして委嘱し、小グループによる指導案検討のワークショップや公開授業を実施した。また、市外先進校を視察し、学習指導や学級経営の在り方について研鑽を積んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講師 兵庫教育大学大学院 長澤憲保 教授</li> <li>開催回数 全7回（うち1回が市外先進校視察）</li> <li>参加者 13人（うち小学校8人、中学校5人）</li> </ul> <p>○授業実践力小中一貫出前（検証）講座（講師謝金） 60千円 授業力の検証に資する講座として実施した。授業構想、実践と評価などについて、講師の指導助言も得ながら、研鑽を積んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講師 兵庫教育大学大学院 長澤憲保 教授</li> <li>開催回数 2回</li> <li>参加者 32人（峰山学園15人、網野学園17人）</li> </ul> <p>○教育実践力サポート講座（講師謝金ほか） 78千円 各講座において、専門性の高い講師による指導により参加者の実践力を高め、講座での学びを勤務校において広げることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施教科 音楽（5回）、外国語（4回）、体育（4回） 道徳（5回）、学級経営（3回）</li> <li>参加者 総参加者56人</li> </ul>			
主な財源				
成果・課題	<p>○大学院教授の講義による理論研修とグループ研修を通して、児童生徒の主体的な学習活動の展開、質の高い授業づくり及び学級運営など、授業実践力等の向上に資することができた。</p> <p>○小中学校の教員がそれぞれの授業を参観し、感想や意見交流をすることで、授業実践についての学びが深まり、教員の義務教育9年間を見通した指導力の向上に資することができた。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業
細事業名	02 学習支援体制整備事業		決算書	P.312
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実 (旧計画項目) 29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額②-①	執行率	(参考)当初予算額
	30,158千円	30,263千円	105千円	99.6 %
				2,098千円
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。			
主要な事務・事業の概要	<p>地域ぐるみでの放課後学習の環境づくり「小学生放課後わくわく自習室」を継続するとともに、土曜日を活用した教育活動、情報メディアを活用した学習支援の実証研究を行った。</p> <p>また、中学校の放課後学習支援を効果的に行うため、ICT機器を整備した。</p> <p>○教育活動の実証研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生の放課後学習支援 小学生放課後わくわく自習室（運営委託料） 215千円 地域人材を活用し、地区公民館等を会場に、毎週水曜日の放課後等に学習支援を行った。</li> <li>実施地区（地域）：宇川連合区、黒部区、佐野甲区、奥大野区</li> <li>中学生の放課後学習支援 29,254千円 学習が遅れがちな中学3年生を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。また、学習支援をより効果的に行うため、全中学校にICT機器を整備した。</li> <li>放課後学習支援（講師謝金、消耗品費） 1,008千円 ICT機器の導入（備品購入費） 28,246千円 タブレット型パソコン 246台（41台×6校） プロジェクタ型電子黒板 6台（1台×6校） など</li> <li>土曜日を活用した教育活動（消耗品費、役務費） 689千円 第二土曜日を「わくわく学びサタデー」に設定し、各学校の創意工夫による教育活動の調査研究を全小中学校で実施した。</li> <li>○情報メディアの活用研究として、高校受験対策番組「数学基礎講座」をケーブルテレビで放映するとともにDVD教材として貸し出しを行った。</li> </ul>			
主な財源	府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3）		
成果・課題	府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金（ICT）（10/10）		
主な財源	府委	土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業費委託金（10/10）		
主な財源	府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3）		
成果・課題	府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金（ICT）（10/10）		
主な財源	府委	土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業費委託金（10/10）		
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	01小学校教育振興事業	
細事業名	01 小学校教育振興事業			決算書	P.326
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額③(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
24,280千円	25,140千円	860千円	96.5%	27,332千円	
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導を実践し、学力等の向上を図る。				
主要な事務・事業の概要	教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動に取り組んだ。  ○報償費 ・入学記念品（418人） 1,333千円 ・卒業記念品（479人） 304千円 ○旅費 ・費用弁償（大地の学習講師費用弁償） 1,029千円 ○需用費 ・消耗品費 3千円 学用品、児童会活動費、理科実験費、道徳副読本、部活動費、 学力検査ほか ・印刷製本費 14,127千円 社会科副読本「わたしたちのきょうたんご」 13,938千円 ○委託料 ・スクールバス定期外運行運転委託料、児童移送業務委託料 5,488千円 ○使用料及び賃借料 ・自動車借上料、有料道路通行料、駐車場使用料 3,322千円 ○負担金、補助及び交付金 ・大会参加負担金（山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会） 7千円 開催日：平成28年10月29日（土） 場所：但馬ドーム周辺駅伝コース 参加校：長岡小、橋小				
主な財源					
成果・課題	学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、児童の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	02小学校教育振興備品整備事業	
細事業名	01 小学校教育振興備品整備事業			決算書	P.326
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額③(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
10,308千円	10,558千円	250千円	97.6%	10,358千円	
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、児童の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。				
主要な事務・事業の概要	学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。  ○需用費 ・修繕料（教材備品の修繕） 396千円 ○使用料及び賃借料 ・図書システムソフトウェア使用料（全小学校） 103千円 ○備品購入費 ・教材備品整備 9,809千円 ・学校図書整備 4,409千円 ・理科教育等設備整備（理科・算数備品） 4,536千円 864千円				
主な財源	国補 練入金	理科教育設備整備費等補助金（1/2） ふるさと応援基金練入金	424千円 5,500千円		
成果・課題	○計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科（算数）教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。 ○新学習指導要領の導入を見据え、授業に必須の学習教材や教育設備・備品については、より一層の整備・充実が必要である。				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	02小学校費	02教育振興費	03小学校就学援助事業	
細事業名	01 小学校就学援助事業			決算書	P.328
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実 (旧計画項目) 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不 用 額 ④(②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
19,084千円	19,367千円	283千円	98.5 %	20,753千円	
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する児童の保護者等の経済的負担を軽減する。				
主要な事務・事業の概要	<p>○就学援助費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護認定者 26人 (H27 33人) 17,647千円</li> <li>修学旅行費 125千円</li> <li>医療費 136千円</li> </ul> <p>・準要保護認定者 259人 (H27 268人) 17,252千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学用品費等 4,693千円</li> <li>給食費 10,934千円</li> <li>修学旅行費 1,369千円</li> <li>医療費 256千円</li> </ul> <p>・準要保護認定者（被災児童）2人 (H27 1人) 134千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学用品費等 47千円</li> <li>給食費 87千円</li> </ul> <p>※申請者数 314人 (H27 327人) 認定者数 287人 (H27 302人)</p> <p>○特別支援教育就学奨励費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者 46人 (H27 46人) 1,437千円</li> <li>学用品費等 333千円</li> <li>給食費 931千円</li> <li>修学旅行費 173千円</li> </ul>				
主な財源	<p>国補 就学援助費補助金（1/2） 130千円</p> <p>国補 特別支援教育就学奨励費補助金（1/2） 701千円</p>				
成果・課題	<p>○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象児童の保護者の経済的負担を軽減することができた。</p> <p>○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、認定基準と給付基準の両面から、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	01中学校教育振興事業	
細事業名	01 中学校教育振興事業			決算書	P.334
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実 (旧計画項目) 29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不 用 額 ④(②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
36,495千円	37,515千円	1,020千円	97.2 %	39,061千円	
目的	副読本や学習教材を有効に活用するとともに、地域の特性を取り入れた学習指導の実践や部活動、体育大会等への参加を支援し、学力等の向上を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>教室内での学習活動のほか、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな教育活動や異なった学年が参加する部活動に取り組んだ。</p> <p>○報償費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学記念品（516人） 1,206千円</li> <li>・卒業記念品（553人） 280千円</li> </ul> <p>○需用費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 926千円</li> <li>学用品、学力検査、指導書、道徳副読本ほか 11,761千円</li> <li>・印刷製本費 11,465千円</li> <li>社会科副読本「京丹後市の歴史」560部 ※中学1年生に配付 296千円</li> </ul> <p>○役務費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器運搬手数料 58千円</li> </ul> <p>○委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス定期外運行運転委託料 17,541千円</li> </ul> <p>○使用料及び賃借料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車借上料 1,162千円</li> <li>・有料道路通行料 528千円</li> <li>・駐車場使用料 571千円</li> </ul> <p>○負担金、補助及び交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会等選手派遣費補助金 63千円</li> <li>4,767千円</li> </ul>				
主な財源					
成果・課題	<p>学校内での学習活動に加え、各学校の創意工夫や独自性を活かしたさまざまな社会活動、体験活動などの校外学習を行うことで、生徒の基礎学力の向上や社会を生き抜く力を高めることができた。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	02中学校教育振興備品整備事業	
細事業名	01 中学校教育振興備品整備事業			決算書	P.334
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
10,085千円	10,295千円	210千円	97.9%	10,476千円	
目的	授業に必要な教材備品や学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動を充実させ、学力の向上と豊かな心を育む。				
主要な事務・事業の概要	学習環境を整えるため、必要となる教材備品を購入した。図書については、充足率の向上に努めるよう整備を行うとともに、学校図書館蔵書管理システムを使用して管理を行った。 また、音楽備品については、適正な維持管理を行うとともに計画的に整備した。  ○需用費 ・修繕料（教材備品の修繕） 701千円  ○役務費 ・楽器調整手数料 320千円 ・被服補修手数料 308千円 12千円  ○使用料及び賃借料 ・図書システムソフトウェア使用料（全中学校） 32千円  ○備品購入費 ・教材備品整備 9,032千円 ・学校図書整備 4,880千円 ・理科教育等設備整備（理科・数学備品） 2,076千円 2,076千円				
主な財源	国補 理科教育設備整備費等補助金（1/2） 緑入金 ふるさと応援基金緑入金	1,038千円 5,000千円			
成果・課題	○計画的に学習教材、教育備品及び学校図書の整備に努めるとともに、理科（数学）教育設備については、国の補助金を活用し計画的に整備を行うことで、学習指導要領に沿った教育環境を整えることができた。 ○新学習指導要領の導入を見据え、授業に必須の学習教材や教育設備・備品については、より一層の整備・充実が必要である。				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	03中学校費	02教育振興費	03中学校就学援助事業	
細事業名	01 中学校就学援助事業			決算書	P.334
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
25,902千円	26,132千円	230千円	99.1%	28,855千円	
目的	要保護者、準要保護者及び特別支援学級に入級する生徒の保護者等の経済的負担を軽減する。				
主要な事務・事業の概要	○就学援助費 ・要保護認定者 18人 (H27 21人) 23,796千円 修学旅行費 360千円 医療費 0千円 ・準要保護認定者 190人 (H27 201人) 23,287千円 学用品費等 9,208千円 給食費 8,828千円 修学旅行費 5,152千円 医療費 99千円 ・準要保護認定者（被災生徒）1人 (H27 1人) 149千円 学用品費等 100千円 給食費 49千円  ※申請者数 230人 (H27 236人) 認定者数 209人 (H27 223人)  ○特別支援教育就学奨励費 ・対象者 41人 (H27 35人) 2,106千円 学用品費等 544千円 給食費 921千円 修学旅行費 641千円				
主な財源	国補 就学援助費補助金（1/2） 国補 特別支援教育就学奨励費補助金（1/2） 府補 被災児童生徒就学等支援事業費補助金（10/10）	180千円 987千円 148千円			
成果・課題	○就学に必要な学用品費、給食費、修学旅行費等を支援することで、対象生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。 ○経済情勢の把握や制度内容の周知を徹底するとともに、世帯状況や家計状態などを考慮し、認定基準と給付基準の両面から、公正かつ適正な援助に引き続き努める必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	07学校情報化推進事業
細事業名	01 学校情報化推進事業			決算書 P.310
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実 (旧計画項目) 29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額	①	最終予算額	②	不 用 額 (②-①)
		(参考) 当初予算額		
22,232千円		22,374千円	142千円	99.3 %
				18,010千円
目的	小中学校の情報通信ネットワーク機器の整備及び維持管理を行うとともに、情報管理の徹底と利用価値の高い学校情報化の環境を構築する。			
主要な事務・事業の概要	<p>市内全小中学校に整備した校内LAN及び校務用パソコン、普通教室用パソコン、情報教室用パソコン及びサーバー機器の維持管理を行うとともに、ウイルス対策を行った。また、市内全小中学校に校務支援システムの導入を行った。</p> <p>○需用費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン・校内LAN関連消耗品 1,178千円</li> <li>・パソコン・校内LAN関連修繕費 (43件) 41千円</li> <li>・パソコン・校内LAN関連修繕費 (43件) 1,137千円</li> </ul> <p>○委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバーシステム・パソコン・校内LAN保守委託料 13,076千円</li> <li>・サーバー設定委託料 (校務用サーバーほか) 3,667千円</li> <li>・校務支援システム操作研修委託料 5,138千円</li> <li>・校務支援システム導入作業委託料 563千円</li> <li>・校務支援システム導入作業委託料 2,849千円</li> <li>・グループウェア保守委託料 713千円</li> <li>・パソコン整備委託料 (教職員異動に伴うパソコン設定作業) 146千円</li> </ul> <p>○使用料及び賃借料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン借上料 7,236千円</li> <li>・サーバーシステム借上料 (8台) 2,013千円</li> <li>・ソフトウェア使用料 5,223千円</li> <li>・ウイルス対策ソフト (1,800台分)、サーバー用ソフトほか</li> </ul> <p>○備品購入費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校務用プリンター購入 (13台) 742千円</li> </ul>			
主な財源				
成果・課題	<p>○ネットワークを利用した遠隔操作などにより、全小中学校に整備した校内LAN、1,756台のパソコン (校務、普通教室、情報教室) 及びサーバー機器の維持管理を効果的かつ適切に行うことができた。</p> <p>○新学習指導要領に対応した学校のICT環境水準の維持・向上を図るために、計画的な機器の更新や整備を進める必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	15児童生徒国際交流事業
細事業名	01 児童生徒国際交流事業			決算書 P.314
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実 (旧計画項目) 29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額	①	最終予算額	②	不 用 額 (②-①)
		(参考) 当初予算額		
3,300千円		3,421千円	121千円	96.4 %
				0千円
目的	語学力の向上はもとより、国際感覚をもちグローバル社会で活躍できる人材育成へつながる国際交流事業を推進する。			
主要な事務・事業の概要	<p>○小学生の国際交流事業 63千円</p> <p>平成27年6月のケネディ駐日大使の来丹を契機に、「鳴き砂の浜があるマサチューセッツ州のマンチェスター・メモリアル小学校と島津小学校との交流を行い、児童が製作する作品の交換等を行った。</p> <p>消耗品費、通信運搬費、ビデオ撮影・編集委託料</p> <p>○中学生の海外派遣 3,237千円</p> <p>学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため海外へ派遣した。</p> <p>派遣先：ニュージーランド ニューブリマス市 スポートツウッド・カレッジ</p> <p>派遣期間：平成29年3月17日（金）～25日（土）の8泊9日間</p> <p>派遣生徒：中学2年生 9人（選考により決定）</p> <p>・事前視察（平成28年8月1日～4日） 605千円 報償物品、特別旅費、通信運搬費</p> <p>・海外派遣（平成29年3月17日～25日） 2,543千円 報償物品、旅費、燃料費、通信運搬費、バス運転委託料 有料道路通行料、中学生海外派遣事業費補助金 ほか</p> <p>・その他（事前研修会、国際電話代等）経費 89千円 講師謝金、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費 ほか</p>			
主な財源				
成果・課題	<p>○中学生海外派遣及び小学生国際交流を行い、語学力の向上及び国際的視野をもった人材育成へつながる国際交流事業を推進することができた。</p> <p>○国際的視野を持った児童生徒を育成するため、国際交流事業の取組の充実を図る必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	O1教育総務費	O4外国青年招致事業費	O1外国語指導助手招致事業	
細事業名	01 外国語指導助手招致事業			決算書	P.318
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
27,705千円	27,937千円	232千円	99.1 %	29,865千円	
目的	外国青年を外国語指導助手(ALT)として招致・任用し小中学校で授業等の補助を行うことで、外国語教育及び国際理解教育の促進を図る。				
主要な事務・事業の概要	小中学校において外国語教育及び国際理解教育を促進するため、自治体国際化協会のJETプログラム事業によるあっせんを受け、6人の外国語指導助手を招致・任用し、その経費を支出した。  ○報酬等 ・外国語指導助手6人の報酬、社会保険料 ・外国語指導助手支援員の謝金、賃金等  ○旅費等 ・研修旅費（6人分）及び帰国情費（4人分）等 ・有料道路通行料  ○住居に要する費用等 ・火災保険料、借家更新料等  ○負担金 ・来日直後オリエンテーション参加費負担金、自治体国際化協会負担金、 JET来日渡航費用負担金	24,542千円  1,590千円  266千円  1,307千円			
主な財源	繰入金　ふるさと応援基金繰入金	10,000千円			
成果・課題	外国語指導助手を各町に1人ずつ配置することで、児童・生徒に生きた外国語や外国文化を学ぶ機会を直接的・継続的に確保することができ、外国語教育と国際理解教育の促進につなげることができた。				
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課				

予算科目	10教育費	O1教育総務費	O4外国青年招致事業費	O2国際交流員招致事業	
細事業名	01 国際交流員招致事業			決算書	P.320
総合計画	計画項目	24 国際交流・多文化共生と広域連携の促進			
	(旧計画項目)	27 国際交流による多文化共生と地域間連携の活性化			
決算額①	最終予算額②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
2,997千円	3,282千円	285千円	91.3 %	0千円	
目的	一般財団法人自治体国際化協会の「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」を活用して国際交流員を任用し、現代社会のグローバル化に対応する。				
主要な事務・事業の概要	国際交流員を学校教育課に配置し、国際交流や異文化理解について、その専門性と見識や経験を活かした指導、助言を行った。  ○国際交流員（1人）の報酬、共済費 ・国際交流員報酬 （280,000円×8か月（平成28年8月～平成29年3月）） ・社会保険料  ○旅費 ・国際交流員の研修（費用弁償）  ○国際交流員の賃貸住宅に係る経費 ・住居の敷金、火災保険料、賃貸住宅サポート手数料 ・消耗品費、修繕料（住居の鍵交換）  ○自治体国際化協会負担金 ・国際交流員人員割、傷害保険負担金 ・来日渡航費用負担金 ・来日直後オリエンテーション参加費用負担金	2,560千円 2,240千円 320千円  78千円 78千円  81千円 64千円 17千円  278千円 100千円 119千円 59千円			
主な財源					
成果・課題	国際交流員を配置し、国際交流関係事業の実施や児童生徒の国際理解教育の推進を行うことができた。				
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	03奨学費	01奨学金事業	
細事業名	01 奨学金事業			決算書	P.318
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
28,303千円	28,313千円	10千円	99.9 %	28,063千円	
目的	経済的に困窮している世帯で勉学意欲のある生徒や学生に対し、奨学金の給付及び貸付を行い、就学を支援する。				
主要な事務・事業の概要	<p>経済的に困窮している世帯（家庭）の勉学意欲のある高等学校、高等専門学校、専修学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部の生徒、大学生、短期大学生、大学院生を対象に奨学金を給付した。また、28年度大学等在学者及び29年度大学等進学予定者を対象に、奨学金の貸付を行った。</p> <p>○奨学金選考・検討委員会委員の報酬及び費用弁償</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬 53 千円</li> <li>委員 4,000円（半日）×6人×2回</li> <li>・費用弁償 48 千円</li> <li>5 千円</li> </ul> <p>○奨学金給付金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生 21,950 千円</li> <li>月額 5,000円×12月×91人</li> <li>・大学生 5,460 千円</li> <li>月額10,000円×12月×137人</li> <li>月額10,000円×5月×1人（退学によるもの）</li> <li>（大学88人、大学院3人、短期大学13人、専修学校33人、高等専門学校1人）</li> </ul> <p>○貸付奨学金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学支援金（3人） 6,300 千円</li> <li>大学生等 3,000 千円</li> <li>1,000千円×3人</li> <li>・入学支度金（5人） 3,300 千円</li> <li>進学予定者 700千円×4人 500千円×1人</li> </ul>				
主な財源	繰入金	奨学基金繰入金	21,950千円		
	繰入金	谷口謙・未来応援基金繰入金	6,300千円		
成果・課題	<p>○厳しい経済状況の中で、勉学意欲と能力のある生徒及び学生への就学支援を行うことにより、困窮世帯の生徒及び学生が勉学に取り組むための環境を整えることができた。</p> <p>○奨学基金をより長く運用していくため、制度の見直しが必要となっている。</p>				
事業所管課	教育委員会事務局／教育総務課				